

### 生きていく力を身に付ける ～食事作りを自分たちで～



手際よく食材をカットします



調理担当職員が丁寧に指導します



美味しくいただきました

皆さん、こんにちは。日本は毎日寒い日が続き、街はクリスマスに向けて準備が始まっている頃ではないでしょうか。

こちらカンボジアでは雨期もそろそろ終わりを迎え、乾季に入ります。日中は日照りが厳しくなりますが、同時に気温が下がるので、子どもたちの体調管理には十分気を付けていかななくてはならない時期でもあります。

さて、今回のドリーム通信では新しく始まった子どもたちによる食事当番の取り組みと、新入園児の紹介、先日行われたバーベキューの様子をお伝え致します。

#### 食事当番が始まりました

園に来る前は食事を十分に食べる事が出来なかった子どもたちですが、今では調理担当の職員が子どもたちの栄養バランスを考え、毎日3回の食事を用意してくれています。しかし園を出れば自分の事は自分でしなくてはならない環境に置かれます。食事を作る事の難しさ、仕事の大変さ、食べる事への感謝を改めて学んで欲しいという願いから、毎週土曜日の夕食と日曜日の朝食、昼食、夕食を子どもたちが作る事になりました。当番は全員を8つのチームに分け、順番に回していきます。

朝食は4時に起きてご飯を炊く準備をし、昼食を作る担当の子どもたちは職員と市場へ買い出しに行き、食材の見極めや、食材の価格についても勉強します。

普段から調理のお手伝いをしている子は包丁の使い方や食材の扱いは手慣れたもので、調理に慣れていない子は「どこを切るの?」「自分でやるの?」と戸惑う様子が見られました。一番難しいのはご飯を炊く作業で、焦がさない様にするため調理担当も指導に熱が入ります。

初日は大成功、美味しい食事が出来て皆ホッと一安心です。毎日の食事には調理担当職員の日々の努力や、ご支援いただいている方の思いがこもっている事を忘れずに、そして食事を自分で作れるようになり、今よりもっと頼もしく育ってくださることを期待しています。

## 新入園児

11月16日「夢追う子どもたちの家」に新しい仲間が増えました。名前はヤエム・サッカナー（男の子・5歳・幼稚園生）です。

入園前は母親と兄弟4人の長男としてポーサット州都の家で生活していました。父親は失踪し、弟はまだ小さい為、母親は十分に働くことが出来ず、食事は1日2回近所の人から分けしてもらって生活していました。子どもにはしっかり勉強させたい、という母親の強い希望で入園することになりました。

サッカナーは入園当初からあまり不安そうな様子は見られず、他の子どもたちの輪の中にすぐ溶け込んでいました。また、5歳で最年少ということで、他の子どもから世話を焼かれとても可愛がられています。

他の子どもたちも兄弟が増えたと嬉しそうな様子で、今まで最年少だった子どもも少しお兄さんらしい姿が見られました。

園では保母さんに字の書き方や、農作業、園での生活全般を教えてもらっています。日本語の「こんにちは」「ありがとう」も他の子どもたちが教え、いつの間にか言えるようになっていました。また、他の子を見て一緒に椅子を片付けたり、お皿を運んだり、お手伝いも頑張っています。

将来の夢は警察官になることです。その夢を叶えられるように、何でも一生懸命に取り組み、元気にたくましく育ててほしいと思います。

## バーベキュー

バーベキューは普段勉強や農作業、また保母さんのお手伝いを頑張っている子どもたちへのご褒美として行っています。

今年はカンボジアの梅雨明けをお祝いする大きなお祭り「水祭り」の祝日に合わせて行いました。

チーム分けや当日の流れはイベント委員会のチョム・サルアン、ノン・ヴァンナ、アン・サオリーの3人が中心となり企画実施を行い、バーベキュー用地の草刈り、釜作りなどは前日子どもたち全員で協力して行いました。

当日は3時から炭を並べたり、食材を運んだりとチームごとに手分けして準備を行いました。

食材はお肉や野菜、また、農園で収穫できた野菜もたくさん使いました。夕方4時に開始し、仲間との会話を楽しみながら皆お腹いっぱい食べました。そして夜は全員で花火をして今年も長かった雨季を締めくくりました。

水祭りの3日間、子どもたちの幸せそうな笑顔をたくさん見ることが出来ました。楽しかった思い出をこれからの活力にし、明日からまた頑張ってもらいたいと思います。



将来の夢は警察官になることです！



友だちがたくさん出来ました！



各グループそれぞれに準備を行います



お腹いっぱい食べて大満足